

2021.4.1 発行

# あした 第6号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会  
TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

## 第36回 ボラ連総会

平成2年の総会は4月25日(土)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

総会資料は例年通り全会員に配付しましたが、議案につきましてはグループ代表に書面で表決していただきました。表決の結果、議案1～議案5のすべての議案は全グループの賛成をもって可決しました。

総会に寄せられた主な意見、質問は以下の通りです。回答も併せて記載します。

- 前年度繰越金が多すぎる。今年度だけでも会費減額などの処置はできないか。  
[回答] 社協からの助成金減額の可能性、赤い羽根募金の配分等現状では状況が見通せないため、今年度の会費の減額・返却は行わない。今年度の状況を踏まえ、来年度に向けて様子を見ていきたい。
- スモールオフィスの利用について  
[回答] セキュリティ対策・資料保管・会議のために利用しているが、今年より使用料の半額免除がなくなり使用料が高額になったので退去を検討している。(令和2年10月末で解約、退去しました。)

## 全体研修会

### “在宅医療について”

～住みなれた地域で最後まで安心して暮らし続けるための手がかりを一緒に考えてみませんか～

講師：宗像市医師会在宅医療連携拠点事業室(むーみんネット) 中村和子氏  
昨年12月3日(木)メイトム宗像で上記テーマの講習会を実施しました。受講者は28人。密を避けるため、広い多目的ホールで周りとの間隔をあけて話を聞きました。

講師の中村氏は、看護師、介護支援専門員として在宅医療に携わっており、在宅医療が必要となってくる社会的背景、在宅医療とは何か、その種類や内容、在宅医療の実例の紹介等、詳しく説明していただきました。また、参加者からの質問、医療方針会議や在宅医療の費用についても丁寧に答えていただきました。



参加者からは、病院と同じ医療を受けられることを知り今後の両親の介護や自分の将来についていろいろ考える良いきっかけになった、エンディングノートを書き込んでみたい、人生会議をしてみたいという感想も聞かれました。

## ふくおか“きずな”フェスティバル

ふくおか“きずな”フェスティバルは、2月21日(日)に春日市のクローバープラザで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため会場での開催は中止となりました。なお、記念講演、実践報告等のイベントについてはWeb配信されました。



記念講演：コロナ禍で必要な認知症対策  
久留米大学医学部教授 音成龍司氏  
実践報告：コロナ禍での高齢者支援  
傾聴ボランティア そら 新宮町社協 (メイトムでのグループ視聴の様子)

個人で視聴された会員も多いと思いますが、にじいろぽけっとの皆さんは定例会議を兼ねてグループで視聴されました。参加者からは、Web配信もみんなで観ると一体感が良い感じだった、音成先生の歌も壮大な郷づくりの夢も、みんなで観たからこそ温かな気持ちになれたような気がします、等の感想が聞かれました。

## ◎リモートで朗読・・・対面朗読ボランティアひばり

新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア活動を自粛しているグループも多いと思います。ひばりさんも「むなかた苑」での活動は自粛していますが、スマートフォンのスピーカー機能を利用したリモート朗読という新たな形の活動を始めています。



活動を見学して感じたのは、障害のある人は健常者以上に人と接する機会が減っているのではないかとことです。対面朗読は音訳(テープやCDに録音されたものを聞く)と違い、本の内容に対して言葉のキャッチボールがあり、朗読を聞いている人が週一回の朗読をととても楽しみにされているということが伝わってきました。

## ボラ連役員・運営推進委員の任期満了に当たって

2年間の短い期間ではありましたが、皆様大変お世話になりました。今年は誰も経験したことのないコロナ禍で活動の自粛を余儀なくされました。そのような中でも前向きな取り組みをされている方もいらっしゃる頭の下がる思いであると同時に、新たな希望が見えてきたのではないのでしょうか。新会長、役員の下、協力して新たな時代に向かって頑張りましょう。(会長：坂梨)

## 第37回 ボラ連総会 中止のお知らせ

今年度のボラ連総会は新型コロナウイルス感染症が収束しないため、やむを得ず中止といたします。総会議案につきましては、グループ代表に書面にて表決して頂きます。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。